

令和2年度 特別養護老人ホーム うさみの園 事業報告書

1. 事業運営の概況

新型コロナウイルス感染症の影響により、全体的な行事・レクリエーションについては、開催を中止もしくは規模を縮小せざるを得なかったが、個々の入居者に対しては、ケアプラン及び機能訓練計画書に基づき充実した個別機能訓練を実施した。

感染対策としては、助成金を利用し移動式簡易陰圧装置 2 台の整備と、居室 1 室を陰圧室に改装、施設全出入口に紫外線照射器を設置した他、ユニットフロア他共用部分各所にはオゾン発生装置を設置、利用者居室のカーテン等に光触媒コーティングを施した。またウイルスを施設内に持ち込まないよう、職員に福祉職員としての意識や行動について通達を出し指導した。

例年実施している内部研修についても、今年度は全職員が集合して行う研修では無く、事故防止と身体拘束廃止、高齢者虐待防止等、各委員会活動を中心に資料を作成して配布し、個々での勉強材料として活用できるような環境を整え、意識改革と資質向上を図った。

運営面では、厚生労働省の指針により前年度に引き続き重要介護度者を積極的に受入れたことから、平均介護度は 3.8 と前年度比 0.1 プラスとなり、年間稼働率については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、96.7%と前年度比 0.6 ポイントのマイナスとなった。

2. 事業計画実施状況

(1) 施設サービスの質の向上

① 個別ケアの充実

24 時間生活シートを用いることにより、日々変化する入居者の身体状態やニーズに関する最新の情報を共有することにより、ユニット職員全員が統一した個別ケアの徹底に努めた。

② 情報の適正な管理と共有

適切な介護を行うために必要な個人情報について、施設ケアマネジャーが中心となり、介護記録等への記載及び協力医療機関、調剤薬局等との

情報提供、授受にあたり、プライバシーポリシーの徹底に努めた。

③ 環境面の充実

新型コロナウイルス感染対策として、オゾン発生装置を施設内各所に、各出入口には紫外線照射器を設置及び検温、手指消毒設備を整えた。各居室は光触媒スプレーコーティングをし、感染予防に努めた。また、設備や備品の状態把握について、担当者を設置し、定期的に損傷状況の調査、迅速な修理等を実施することにより適切な管理に努めた。

(2) 高齢者虐待防止と身体拘束廃止

- ① 職員一人ひとりの意識と共に家族の理解と協力の下、身体拘束廃止委員会を中心に、行動記録を綿密にとり身体拘束ゼロに向けて検討した。
- ② 高齢者の虐待防止について、身体拘束廃止委員会、・内部研修においてDVD鑑賞から虐待に対する知識を得ることにより、入居者の安全や健康への留意に努めた。
- ③ スピーチロックの廃止に向け、職員一人一人が言葉遣いに対して自己評価を行うとともに、職員同士が注意しあえる環境を整えることにより、全職員が一丸となり取り組んだ。

(3) 健全な施設運営

- ① 光熱費を削減する為に常に節電・節水を心掛け、またエアコンフィルターの定期的な清掃、基本温度の設定を設けることにより、コスト削減に努めた。
- ② 稼働率目標 98.5%に向けて取り組んだが、新型コロナウイルス感染症の影響により入所希望者からの入所の保留の要望が多くあったこともあり、本年度の稼働率は96.7%と目標達成に至らなかった。
- ③ 介護報酬の増加を目的とし、夜勤配置加算(Ⅱ)を加算するため、算定条件である喀痰吸引業務登録者が配置出来るよう、喀痰吸引等研修を施設で開催した。

(4) 非常災害対策

- ① 災害(火災、台風、地震、土砂災害)への対応、取組みの充実
地域消防署と連携し総合防災訓練、夜間想定防災訓練の他、定期的にユニット単位での訓練を実施した。
- ② 地域福祉避難所

避難所としての役割を理解し、有事の際には全うできるよう地域との連携及び防災備品の準備に努めた。

令和2年度 防災訓練実施内容

日	内 容
4月	通報、初期消火、避難誘導訓練（巣雲フロア）
6月	通報、初期消火、避難誘導訓練（天城フロア）
7月	通報、初期消火、避難誘導訓練（SS・DS）
9月	夜間防火管理体制に基づく検証 避難時間 14分19秒
11月	東海地震想定総合防災訓練、情報伝達、救急救護訓練
1月	土砂災害想定垂直避難訓練

(5) 人材確保定着

- ① 人材確保定着委員会や労働安全対策委員会等で、可能な限り職員の意見を取り入れて働きやすい職場環境を整え、離職率の減少を図るよう努めた。
- ② ハローワーク、職場説明会等を通して広く人材確保が出来るよう努めた。

(6) 各部署の取組み

① 生活相談員

日常における生活相談で、入居者及び家族の社会的・経済的、また施設の生活支援全般に対する相談に乗り、必要な助言や連絡調整を行い、施設サービス等における苦情の窓口として、入居者及び家族からの苦情は、真摯に受け止め誠意を持って対応することができた。

稼働率の向上への取組みについては、入所待機者の管理を適切に行い、空床期間5日以内での入所を目指したが、新型コロナウイルス感染症の影響により5日以内に入所出来なかった時もあり、目標を達成できなかった。

② 介護支援専門員

ケアプラン作成について、入居者、家族との良好な関係を築き、相互信頼の下で要望を的確に把握し、入居者本位のケアプランの作成に努めた。また、適切なモニタリングにより入居者の変化を掌握し、課題分析等適宜アセスメントを実施し、必要に応じてサービス担当者会議の企画・運営し、随時ケアプランの検討・変更を行うことができた。

③ 栄養士

個々の入居者の嚥下状態、病態・体調の変化に対応できるよう他職種と連携して安全に適した食事を提供した。また、一人ひとりの体調管理のため、毎月2回の体重測定の実施と毎食の摂取量・水分量の把握に努めた。

④ 医務室

入居者の日常的な活動(食事、睡眠、排泄、入浴動作等)を観察し、栄養、休息、衛生に配慮した上で疾病の予防、早期発見に努めた。また、嘱託医と連携を取りながら定期的な往診・健康診断を実施し、必要に応じて受診及び検査を実施した。

看取り介護の実施については、各部署と連携を図り、尊厳ある最期を迎えることが出来るよう入居者の個々のニーズに合ったケアの実現に努めた。

職員の健康管理については、下記の内容を実施した。

- ・ 全職員を対象の健康診断を年1回実施
- ・ 夜勤者を対象とした健康診断を年1回実施
- ・ インフルエンザ予防のワクチン接種を実施
- ・ ストレスチェックの実施
- ・ 職員玄関に手指消毒液、マスク、非接触型体温計を設置し、出勤名簿に体温の記入を義務付け、感染症予防と健康チェックを行った。

⑤ 機能訓練指導員

個々の入居者の日常生活動作を評価し、心身機能や入居者本人の要望を勘案した上で個別機能訓練計画をたて、多職種と連携して、現時点での日常生活動作を維持・改善できるよう機能訓練を実施した。

(7) 委員会活動

① 管理運営会議(毎週月曜日)

基幹職員が出席し、週間の業務予定及び検討事項の協議を行った。

② 労働安全衛生委員会(第3水曜日)

職員の健康・安全・衛生・職務環境について協議し、改善に向けた取り組みを行った。

③ 教育研修委員会(随時)

職員のスキルアップを図るとともに資格を取得しやすい環境を整えるため、喀痰吸引等研修・介護実務者研修をうさみの園主催で開講し、喀痰吸引等研修はうさみの園職員13名、外部受講者1名の計14名が受講、介護実務者研修はうさみの園職員3名、外部受講者2名の計5名が受講した。

④ 感染症対策委員会(第1水曜日)

感染症予防対策として、職員・面会者のマスク着用、手指の洗浄・消毒を徹底することにより感染予防に努めた。また、適切な手洗い方法や各所の清掃について研修会を実施し、感染予防に対する職員の意識改革を図った。

入居者個々の褥瘡ケア計画書を作成・実践することにより、予防対策、早期発見・治癒を目指した

⑤ リスクマネジメント委員会(第4木曜日)

事故報告書の集計と内容の検討を行い、特に職員の確認不足やケアの不統一等による人的ミスが要員の事故を無くすよう努めた。

⑥ 身体拘束廃止委員会(第4木曜日)

身体拘束・高齢者虐待について研修を行い、全職員に対し「身体拘束0」の意識を念頭に置いた業務の遂行を徹底した。

⑦ 排泄委員会(第2水曜日)

多くの入居者がトイレでの排泄を可能としオムツの依存を少なくするよう、入居者個々の排泄計画を立て実践した。

排泄備品の一部を入居者ごとに用意することで、感染症予防及び清潔保持の確保に努めた。

⑧ 給食委員会(第2金曜日)

栄養士が中心となって、毎月ユニットで食レクが実施できた。

⑨ 厨房運営管理会議(隔月第3水曜日)

(株)日清職員も出席し、適正な厨房の運営・衛生管理等を協議した。

⑩ イベント委員会(随時)

新型コロナウイルスの予防対策により施設全体で開催する「うさみの園まつり」、「七夕まつり」を中止し、5月に臨時で「ビンゴ大会」を実施した。また、「敬老祝賀会」についてはユニットごとに執り行われる午前の部のみを開催し、全体で開催する午後の部を中止した。

⑪ 編集(広報)委員会(随時)

広報誌発行の編集及び校正を行い、広報誌「うさみの園だより」を年3回発行した。

⑫ リネン委員会(随時)

入居者に快適な睡眠を提供できるよう、清潔なりネンの確保に務めた。

⑬ 優先入所検討委員会(6・10・1月)

第三者委員2名を含め、年3回優先入所基準に基づく採点により入所順位が上位となった待機者について検討し、適正な施設入所に努めた。

⑭ 苦情対策委員会(3月)

施設に寄せられた苦情及び苦情に準ずる指摘にについて、第三者委員2名に報告し意見を求めた。

⑮ 介護事故防止委員会(随時)

重要な事案について事故検証を行い、再発防止に努めた。

(8) 実施事項

① 年間行事

令和2年度に行った主な行事は次の通り。

4月	桜花見
5月	たけのこ狩り・蕨取り
6月	コロナに負けるなビンゴ大会
7月	流しそうめん
9月	敬老祝賀会
10月	ハロウィンビンゴ大会
12月	クリスマス会
1月	書き初め・正月遊び
2月	節分まつり
3月	ひなまつり

その他:各ユニットにて毎月お誕生会を実施した。

② ケアカンファレンス

新規入所時、介護保険更新時、看取り開始時 身体拘束開始時及び同意書期限の更新時、退院時に実施

③ 健康管理

ア. 嘱託医回診…毎週火・水曜日、隔週金曜日／おおたか内科クリニック
イ. 歯科往診…随時／石川歯科

ウ. 健康診断…年 1 回(8 月)／静岡県結核予防協会

④ 介護実習生の受入れ

令和2年度 介護実習受入れ状況

実習内容	学校名	実習期間	人数
介護実習(特養・DS)	立正大学	10月13～16日	1

令和2年度 内部研修参加状況

研修日	事業	研修名	講師	参加人数
7月28日	うさみの園 全体	新型コロナウイルス感染症 食中毒予防	看護職員 栄養士	85
9月25日		職員労働安全衛生(メンタルヘルス 等)	衛生管理者	85
10月23日		感染症予防とリスク対応について	感染症対策委員 会	82
11月19日		介護リスクマネジメントと介護事故 の防止	リスクマネジメント 委員会	72
12月23日		高齢者虐待防止の基本	身体拘束廃止 委員会	73
1月25日		看取り介護について	看護職員	71
2月28日		ノロウイルス・口腔ケアについて	栄養士	83

令和2年度 職員外部研修参加状況

職 種	参加 人数	主な研修
施 設 長	2	福祉のしごと・セミナー&施設相談会
		新型コロナウイルス感染症発生に対応する BCP の作成のための研修会 (リモート)
事 務 員 相 談 員 施設ケアマネ	6	令和3年度 介護報酬改定について(リモート)
		新型コロナウイルス感染症発生に対応する BCP の作成のための研修会 (リモート)
		介護支援専門員専門研修Ⅱ
看護職員	1	看護の質向上研修
居宅介護 支 援事業所	27	居宅介護支援事業所意見交換会(コロナについて)
		伊東市高齢者あんしん見守りネットワーク事業研修
		介護保険サービス提供事業所説明会
		新型コロナ感染症について
		訪問型サービス B について
		介護リスクマネジメントと介護事故の防止
		付き合っていこう認知症研修会
		感染防止対策について
		多職種連携研修会
		ノロウイルスと口腔ケアについて
		グループスーパービジョンスキルアップ研修会
新型コロナウイルス感染症発生に対応する BCP の作成のための研修会 (リモート)		
ヘルパー	1	多職種連携研修会